

2024年度事業計画

昨年は、山口県観光連盟が地域連携 DMO として山口県域の観光地域づくりを進めるにあたっての指針となる「DMO 推進戦略」を改定し、県が新たに策定した「新たな観光県やまぐち創造プラン」に掲げる観光施策と連携して、本県の強みである、豊かな自然や歴史、食などの優れた観光資源を活用した誘客・プロモーション・着地整備等を進めてまいりました。

2024年度は、本年1月の米紙ニューヨーク・タイムズの記事掲載を契機に、本県への注目が一躍高まっている絶好の機会を活かし、戦略的なプロモーションや受入環境の整備を一層強化し、新たなインバウンド需要の獲得につなげてまいります。

戦略的なプロモーションとしては、外国人旅行客が訪日中に訪れる可能性の高い首都圏等の主要交通拠点において、外国人向けのデジタルサイネージによる情報発信等を行うとともに、受入環境整備として、県内外の交通拠点と主要観光地を結び、多言語に対応した観光周遊バスの運行等を行うことにより誘客を促進します。

また、国内観光客に向けては、観光キャッチフレーズ「おいでませ ふくの国、山口」のもと、『幸福（ふく）』に満たされる旅のイメージの確立を図り、本県への誘客拡大につなげてまいります。

特に、観光客の心をつかむ観光資源の発掘は重要であることから、旅行者や地域住民などが魅力に感じた、日常の暮らしや風景、グルメなどの情報を募る取組を実施し、隠れた観光資源を掘り起こしていきます。

観光連盟では、本県観光のさらなる飛躍に向けて、DMO 推進戦略に基づき、県や市町、観光関係団体、事業者の皆様と連携して取り組んでまいります。

◆ DMO 推進戦略

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | 協創力 を高める
～DMOの推進～ |
| II | 地域の魅力 を高める
～着地整備の促進～ |
| III | 情報の伝達力 を高める
～プロモーションの展開～ |

I 協創力を高める ～DMOの推進～

多様な関係者の連携を促進するとともに、各地域における取組を支援することにより、県を挙げた「協創」を生み出す。

1 DMO推進体制の強化

①マーケティング専門人材の配置等

▽マーケットに的確に対応した事業活動を展開できるよう、観光に関する専門的知見を有するマーケティング統括責任者を常勤配置し、マーケティング機能の強化に向けた体制整備を推進

②観光マーケティング機能の充実強化

▽マーケティング統括責任者の主導による、ターゲットの旅行意識や周遊実態の詳細把握等の、マーケティングリサーチを実施する。

③着地整備に係る専門人材の配置

▽地域の事業者等と幅広いネットワークを構築し、観光コンテンツの造成等を支援

2 やまぐちDMOフォーラムの開催

マーケティング統括責任者を核に、「DMO推進戦略」の共有と地域の中核的な人材育成、多様な関係者との合意形成を図るため、「やまぐちDMOフォーラム」を開催する。

3 観光功労者表彰事業

一般社団法人山口県観光連盟功労者表彰要綱に基づき、本県の観光振興のために尽力した者を表彰する。(隔年実施)

Ⅱ 地域の魅力を高める ～着地整備の促進～

「やまぐちらしさ」を磨き上げ、魅力ある観光資源、コンテンツ、サービスを生み出し、山口県の「価値」を高める取組を進める。

1 山口ならではのアウトドアツーリズム推進事業

山口県の豊かな自然を最大限に活かした、山口ならではのアウトドアツーリズムを推進し、交流人口の拡大と地域の活力を生み出す。

①アウトドアツーリズム推進体制強化事業

▽全県を挙げた推進体制である「やまぐちアウトドアツーリズム創出会議」による取組の強化

- ・ 専門家による一気通貫の伴走型支援の実施による体験コンテンツ開発の促進等

②山口ならではの特別な体験創出支援事業

▽山口県ならではの「特別な体験」の提供に向けた観光コンテンツ開発への支援

▽補助対象事業の効果を高めるための専門家派遣

③アウトドアツーリズムシンボルイベントの開催

▽アウトドアツーリズムのブランド化、定着化に向けたシンボルイベントを山口きらら博記念公園において開催

2 **新** 観光二次交通充実事業

国内外からの誘客及び周遊促進のため、山口県内をめぐる広域観光周遊バスの実証運行等により、本県の観光二次交通の充実を図る。

▽観光周遊バスの実証運行（インバウンド利用者も想定）

- ① 角島大橋・元乃隅神社ルート（湯田温泉発、新山口駅経由）
- ② 秋吉台・萩城下町ルート（湯田温泉発、新山口駅経由）
- ③ 錦帯橋・柳井白壁の町並みルート（広島方面から）

3 戦略的観光消費額向上事業

ビッグデータ等を活用した分析結果を踏まえ、マーケット志向に基づき、効果的なプロモーションと強力な着地整備を戦略的かつ一体的に展開することで、「観光消費額の向上」を図り、観光産業の稼ぐ力の強化につなげる。

▽「宿泊客の増加」を目的に複数の民間事業者が連携して実施する取組を支援

▽事業者の課題解決等に向けたアドバイザー派遣

4 外国人観光客の受入環境の整備

本県を訪れる外国人観光客の満足度を高め、リピーターの確保や更なる誘客拡大を図るため、県内を安心して快適に周遊できる受入環境の充実を図る。

①多言語コールセンターの運用

▽多言語コールセンターによる通訳サービスの提供

▽多言語WEBサイトによる情報発信

②無料公衆無線LAN環境の普及促進

▽「やまぐちFree Wi-Fi」の普及促進

▽統一ステッカーやWEBでのマップ表示による設置場所のPR

③岩国駅観光案内所への多言語対応スタッフの配置

5 全県を挙げたおもてなし力の向上

本県を訪れる旅行者が県内をストレスなく、安心・快適に観光を楽しめるよう、観光コンシェルジュを配置するなど、広域観光案内機能等の強化を図る。

①観光コンシェルジュの配置

▽山口県観光全体について、ワンストップで行き届いた案内を実施する「山口県観光コンシェルジュ」をJR新山口駅に配置

②「心のこもったおもてなし」に対する支援

▽JR新幹線駅及び山口宇部空港での観光案内所における観光案内業務など、「心のこもったおもてなし」の取組を支援

6 着地整備に係る専門人材の配置（再掲）

地域の事業者等と幅広いネットワークを構築し、観光コンテンツの造成等を支援

Ⅲ 情報の伝達力を高める ～プロモーションの展開～

データの収集・分析に基づいたプロモーション活動の展開等により、マーケットに確実に訴求する情報発信を進める。

1 新 インバウンド特別強化対策事業

ニューヨークタイムズの記事掲載による海外からの注目度の高まりや、大阪・関西万博の開催を契機とした誘客促進のため、本県の更なる認知度向上や受入環境の充実に向けた取組を強化し、外国人観光客の確実な取り込みを図る。

① デジタル媒体等を活用したPR

▽外国人観光客が訪日旅行中に訪れる可能性の高い交通拠点等における本県の観光情報の発信

- ・主要な国際空港や新幹線駅でのデジタルサイネージ展開
- ・東京、大阪のインフォメーションセンター活用

▽ターゲティング広告の配信

② JR等との連携による広域周遊の促進

▽JRと連携し、観光商品と交通を組み合わせた広域周遊旅行商品を造成

▽JR・近隣自治体との共同プロモーションの展開

2 ビジットやまぐち推進事業

円安等を背景に、訪日外国人観光客の増加が期待される中、重点5市場に対する戦略的なプロモーションの展開等により、外国人観光客の確実な取り込みを図る。

① 重点市場への戦略的なプロモーション

▽重点5市場それぞれに効果的な手法でのプロモーションを展開

▽5つの重点市場への観光プロモーターの配置及び旅行会社等との連携

- ・韓国、台湾、香港、中国、ASEAN（タイ）に観光プロモーターを配置し、現地旅行会社への継続的なセールス活動による本県への旅行商品造成を促進

▽近隣自治体や交通事業者等と連携した広域プロモーション

② マーケティング視点に基づいたデジタルプロモーション

▽ターゲティング広告の配信

▽デジタルマーケティングセミナーの開催

③ 海外OTAによる誘客促進

▽観光商品の磨き上げ実施

▽OTA掲載に係る支援の実施

▽海外OTA戦略アドバイザーの配置

- ・掲載促進に向けた観光資源の発掘や受入施設の充実など

3 「おいでませ ぶくの国、山口」プロモーション事業

観光キャッチフレーズ「おいでませ ぶくの国、山口」の下、「絶景」「体験」「グルメ」をテーマとしたプロモーションを戦略的に展開し、本県への誘客と県内周遊を促進する。

①「おいでませ ぶくの国、山口」のブランディング

- ▽「おいでませ ぶくの国、山口」のブランド化に向け、スペシャルアンバサダーを活用した情報発信
- ▽誘客促進キャンペーン（旅みくじキャンペーン、満ぶくキャンペーン）
- ▽アウトドア体験コンテンツの認知度向上と利用促進につながる割引キャンペーン
- ▽「食」に着目した新たな観光コンテンツの開発

②事業者との連携によるプロモーション

- ▽旅行会社とタイアップした旅行商品の造成
- ▽航空会社とタイアップした情報発信
- ▽鉄道事業者と連携した情報発信
- ▽道路事業者・道の駅との連携 等

③情報発信力の強化等

- ▽デジタル観光プロモーションの展開
 - ・ SNS等を活用したターゲティング広告やWEBコンテンツの作成等
- ▽観光キャッチフレーズシンボルマーク「ぶくだるま」等を活用した情報発信
- ▽大阪情報発信会
 - ・ 旅行商品造成やメディアの掲出につなげるため、大都市圏において、旅行会社、交通運輸事業者等を対象とした情報発信会や商談会を開催
- ▽県内観光消費喚起に向けた周遊イベント
 - ・ 「やまぐちのナゾさんぽ」の実施
- ▽古地図を片手にまちを歩こう
 - ・ ガイドウォークやスマホ等で気軽に楽しめるまち歩きを実施

4 **新** 山口の旅の魅力シェア促進事業

旅行者に「幸福感あふれる山口の旅」のイメージを提示し、山口の「絶景」「体験」「グルメ」をはじめとした観光情報をシェアできる参加型プラットフォームを形成・活用していくことで、地域住民等と連携して、本県への誘客を図る。

- ▽旅行者や地元住民等からの観光情報（画像・コメント）の投稿を募り、山口の旅の「感動」、「満足感」を旅行者・地域住民・観光関係者でシェアして活用
- ▽季節ごとの投稿キャンペーンや学生を対象とした観光フォトコンテストの実施

5 ホームページやSNS、情報誌等による情報発信

Webサイト「おいでませ山口へ」や、SNS (Facebook、Instagram、Twitter)、観光素材集「西の国から」等を活用し、戦略的・機動的な情報発信を行う。

6 山口県MICE誘致推進事業

市町や観光団体と連携し、経済波及効果の高いMICEの誘致を推進する。

①コンベンション商談会への出展等

②MICE開催に係る経費の助成

《助成対象》

開催市町又はコンベンション協会等から同様の助成金等が交付される国内大会及び国際大会

《助成金額》

延べ宿泊者数	国内大会	国際大会	
		うち外国人宿泊客数	助成額
500～ 999人		50人以上	700,000円
1,000～1,499人	300,000円		800,000円
1,500～1,999人	400,000円		900,000円
2,000人以上	500,000円		1,000,000円

7 支部事業

東京支部、大阪支部における観光情報の収集・提供や、観光展の開催、参加などによる観光PRを実施する。